

seca 657 r

EMR ready デジタル ストレッチャー用スケール (検定付) ㊦

EMR-integrated

3年間
保証対象製品

EMR



- キャスターやタイヤ付きのあらゆる製品に対応可能な広い計量台
- 安定した設計で、300 kg まで測定可能
- ホイール間隔 145 cm までのストレッチャーに対応可能
- ストレッチャーの重量を記録するメモリー機能搭載で患者の正確な体重を測定
- RS232で出力可能 (出力の際にはRS232ケーブル seca 451が必要です)

seca 657 r :

あらゆる場面での正確な測定

病院への緊急入院、緊急外来などでは、全ての処置が素早的確に行われなくてはなりません。特に、手術を必要とする場合などは、麻酔薬の量を正しく確定するために患者の体重の測定が必要不可欠です。車搭載用ストレッチャーや病院内のストレッチャーの上の患者の体重測定もseca 657 rなら問題ありません。計量台は、ホイール間隔が145cm以下のタイヤ付きのあらゆる移動用製品に十分対応でき、ストレッチャーのみならず車椅子や歩行可能な患者の体重測定にも活用できます。

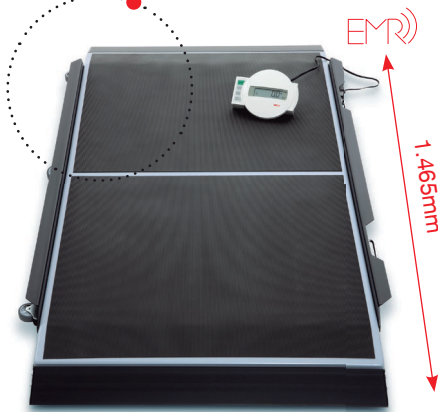


安定設計で300kgまで計測可能

その極めて安全な設計と、300kgという大きな最大計量によって、体重の重い患者でもseca 657 rで簡単に測定できます。その計量台は、車椅子はもちろんストレッチャーなどのタイヤ付き（ホイール間隔が145cm以下）のあらゆる移動用製品に対応できるような大きさに設定されています。

※大型の体重計は移動することを前提に製造されており、移動を頻繁に行くと故障の原因となります。移動用のキャスターはやむを得ず移動が必要な際に体重計の移動をサポートするためのものです。あらかじめご了承ください。

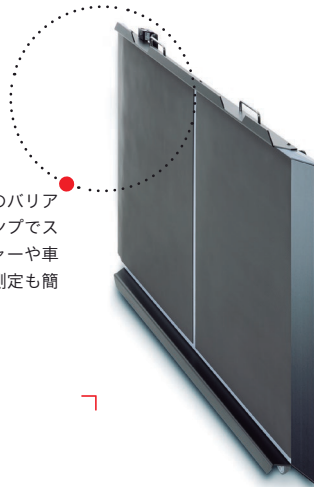
3つのキャスターはやむを得ず移動が必要な際に体重計の移動をサポートします



様々な付加機能のあるケーブルリモートディスプレイ

読み取りやすいLCD表示で、高性能なケーブルリモートディスプレイは、テーブルに置いたり、目の位置の高さに合わせて壁にかけたり、別売オプションのディスプレイスタンド seca 472 に取り付けたり、お使いになる場所のスタイルに合わせることができます。ホールド機能により、測定値は保持され、記録するより前に患者のケアをすることができます。seca 657 r の風袋引き機能を応用した便利な使い方をご紹介します。ストレッチャーと患者の総重量をまず測定します。その後風袋引き機能を使い、患者とストレッチャーの総重量を0.0kgにして降り、患者を手術台などに乗せた後、再度ストレッチャーを測定台に乗せると、ストレッチャーの重量を差し引いた患者のみの体重が表示されます。プリセット風袋機能では、補助装置などの付加重量をあらかじめ総重量から差し引くことができます。また、BMI機能によって、この患者の栄養状態の確認もできます。

標準装備のバリアフリーランプでストレッチャーや車椅子での測定も簡単です



seca電子カルテ連動ソリューション：仕事の流れを改善する方法

seca 452を使用すると専用サーバーを介して院内のネットワーク上にある全てのseca製品を電子カルテに接続することができます。(別途専用サーバーと接続費用が必要です。) また、seca 451 RS232ケーブルを用いることでRS232で測定値を出力可能です。seca電子カルテ連携ソリューションに関するお問い合わせはこちらへ：info@seca.co.jp

seca 657 r

テクニカルデータ

- 最大計量：300 kg
- 表示単位：200kgまで100g、200kg以上200g
- 風袋引きレンジ：300 kg
- サイズ (W×H×D)：893 × 87 × 1,655 mm
- 計量台サイズ (W×H×D)：800 × 55 × 1,465 mm
- 重量：46.2 kg
- 電源：ACアダプター
- 機能：風袋引き機能、プリセット風袋機能、ホールド機能、オートホールド機能、オートレンジ機能、BMI機能、ダンピング機能、送信機能、RS232通信
- 別売オプション：RS232ケーブル seca 451、ディスプレイスタンド seca 472、無線・有線プリンターセット
- 精度等級：3級

システム連携：すべての電子カルテシステム (EMR)そしてsecaのEMR ready製品と連動可能です。ただし、EMRとの連動には別途費用が必要となります。詳細につきましてはお気軽にお問い合わせください。